



ファイバ用 4GE SSM の設定

4GE Security Services Module (SSM) には、4 つのイーサネット ポートがあり、各ポートに、SFP (着脱可能小型フォーム ファクタ) ファイバと RJ 35 の 2 つのメディア タイプ オプションがあります。同じ 4GE カードを使用して、銅線ポートとファイバポートを混在させることができます。



(注) 4GE SSM には、ASA ソフトウェア リリース 7.04 以降が必要です。

この章は、次の項で構成されています。

- [4GE SSM インターフェイスのケーブル接続 \(P.11-2\)](#)
- [ファイバインターフェイスの 4GE SSM メディア タイプ設定 \(オプション\) \(P.11-4\)](#)
- [次の手順 \(P.11-6\)](#)



(注) デフォルトのメディア タイプ設定はイーサネットなので、使用するイーサネット インターフェイスのメディア タイプ設定は、変更する必要がありません。

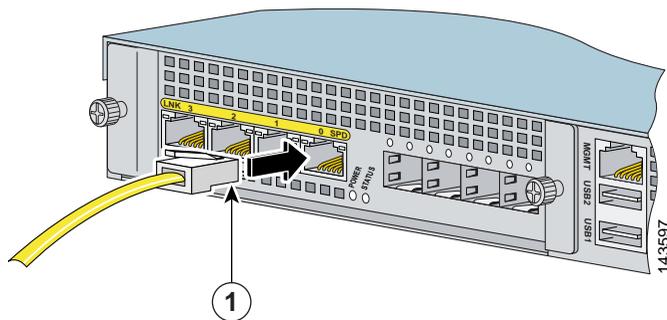
4GE SSM インターフェイスのケーブル接続

4GE SSM インターフェイスをケーブル接続するには、ネットワーク デバイスに接続するポートごとに、次の手順を実行します。

ステップ 1 RJ-45 (イーサネット) インターフェイスをネットワーク デバイスに接続するには、各インターフェイスで次の手順を実行します。

- a. アクセサリ キットから黄色のイーサネット ケーブルを見つけます。
- b. ケーブルの一方の端を、4GE SSM のイーサネット ポートに接続します (図 11-1 を参照してください)。

図 11-1 イーサネット ポートの接続



1	RJ-45 (イーサネット) ポート
----------	--------------------

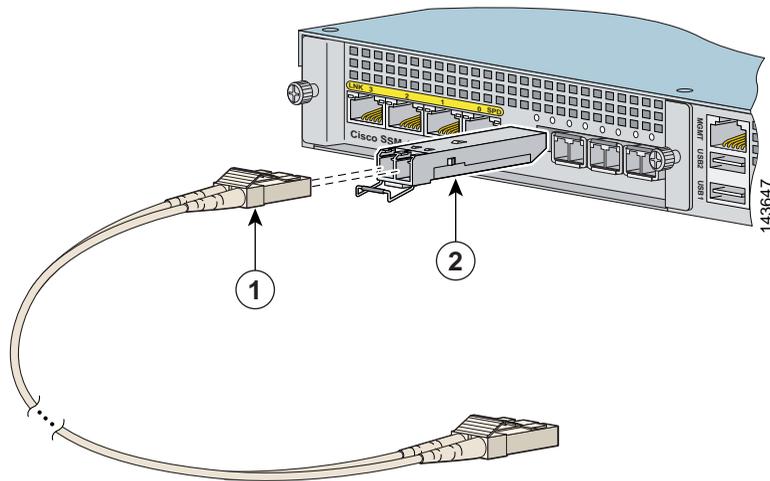
- c. ケーブルのもう一方の端を、ネットワーク デバイスに接続します。

ステップ 2 (オプション) SFP (光ファイバ) ポートを使用する場合は、図 11-2 で示すように、SFP モジュールを取り付けてケーブル接続します。

- a. SFP モジュールを、カチッという音が聞こえるまで SFP ポートに差し込み、スライドさせます。カチッという音は、SFP モジュールがポートにロックされたことを示します。

- b. 取り付けした SFP から光ポート プラグを取り外します。
- c. 4GE SSM アクセサリ キットから、LC コネクタ（光ファイバケーブル）を見つけてみます。
- d. LC コネクタを SFP ポートに接続します。

図 11-2 LC コネクタの接続



1	LC コネクタ	2	SFP モジュール
---	---------	---	-----------

- e. LC コネクタのもう一方の端を、ネットワーク デバイスに接続します。

SFP ポートをネットワーク デバイスに接続した後、各 SFP インターフェイスのメディア タイプ設定を変更する必要があります。次の手順、「[ファイバインターフェイスの 4GE SSM メディア タイプ設定（オプション）](#)」に進みます。

ファイバ インターフェイスの 4GE SSM メディア タイプ設定 (オプション)

ファイバ インターフェイスを使用する場合、各 SFP インターフェイスで、メディア タイプ設定をデフォルト設定 (イーサネット) からファイバ コネクタに変更する必要があります。



(注) デフォルトのメディア タイプ設定はイーサネットなので、使用するイーサネット インターフェイスのメディア タイプ設定は、変更する必要がありません。

ASDM を使用して SFP インターフェイスのメディア タイプを設定するには、ASDM のメイン ウィンドウから次の手順を実行します。

- ステップ 1 ASDM ウィンドウの上部で **Configuration** タブをクリックします。
- ステップ 2 ASDM ウィンドウの左側で **Interfaces** タブをクリックします。
- ステップ 3 **4GE SSM** インターフェイスをクリックし、**Edit** をクリックします。Edit Interface ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4 **Configure Hardware Properties** をクリックします。Hardware Properties ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 5 Media Type ドロップダウン リストで、**Fiber Connector** を選択します。
- ステップ 6 **OK** をクリックして Edit Interfaces ダイアログボックスに戻り、**OK** をクリックしてインターフェイス設定ダイアログボックスに戻ります。
- ステップ 7 各 SFP インターフェイスに対して、この手順を繰り返します。

コマンドラインからメディア タイプを設定することもできます。詳細については、『*Cisco Security Appliance Command Line Configuration Guide*』の「Configuring Ethernet Settings and Subinterfaces」を参照してください。

次の手順

これで、初期設定が完了しました。次の追加の手順について、実行する必要があるかどうかを検討してください。

作業内容	参照先
設定の調整およびオプション機能と高度な機能の設定	<i>Cisco Security Appliance Command Line Configuration Guide</i>
日常のオペレーションの学習	<i>Cisco Security Appliance Command Reference</i> <i>Cisco Security Appliance Logging Configuration and System Log Messages</i>
ハードウェア メンテナンスおよびトラブルシューティング情報の確認	<i>Cisco ASA 5500 Series Hardware Installation Guide</i>